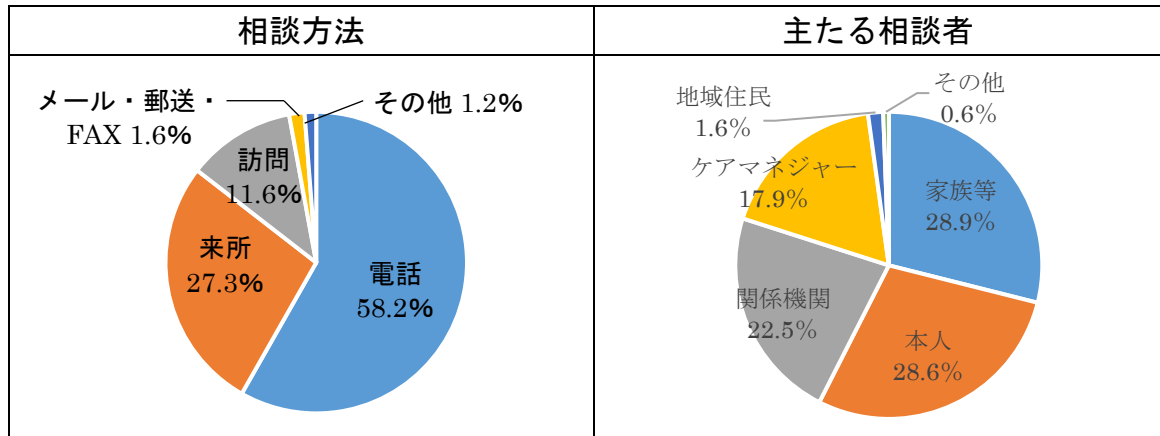


1. 地域包括支援センター相談状況について

(1) 令和7年度地域包括支援センター相談統計（令和7年4月～令和8年3月）

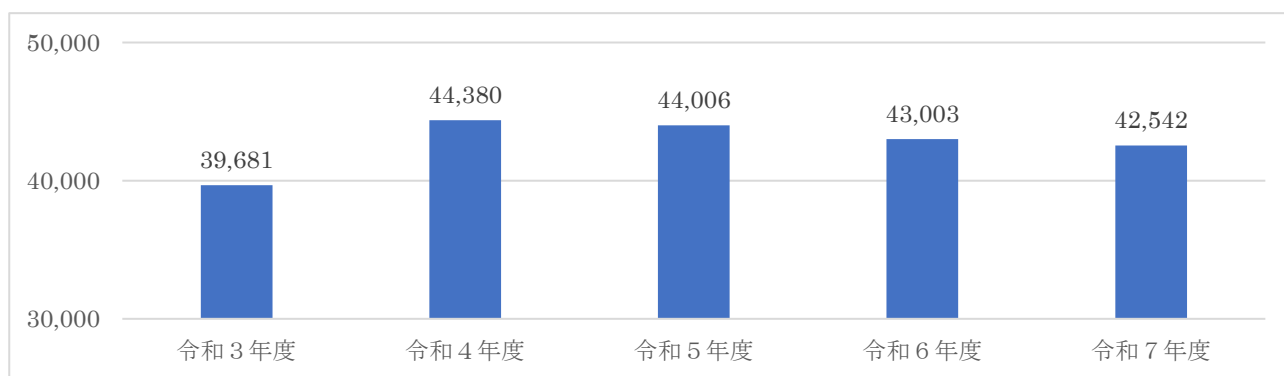


件数		菊	東部	こまごめ	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	合計
(65歳以上)	高齢者人口※1	7,285	7,950		7,416	6,408	5,912	5,398	7,562	8,050	55,981
	高齢化率	19.9%	19.6%		17.6%	17.7%	16.6%	18.1%	20.7%	20.7%	18.9%
	高齢者人口全体に対する割合	13.0%	14.2%		13.2%	11.4%	10.6%	9.6%	13.5%	14.4%	100.0%
相談方法	来所	1,179	2,117	568	1,094	1,259	826	1,087	1,465	2,570	11,597
	電話	3,420	4,849	511	3,309	1,868	3,239	1,943	2,640	3,504	24,772
	訪問	829	547	19	535	354	455	449	732	1,043	4,944
	メール・郵送・FAX	29	92	10	14	8	400	47	50	59	699
	その他(※2)	70	141	32	7	46	39	90	43	94	530
	計	5,527	7,746	1,140	4,959	3,535	4,959	3,616	4,930	7,270	42,542
主たる相談者	本人	2,164	1,937	353	1,582	886	1,047	1,018	1,195	2,324	12,153
	家族等	1,338	2,403	543	1,261	1,062	1,430	1,039	1,570	2,198	12,301
	地域住民	83	110	21	133	51	118	46	62	74	677
	ケアマネジャー	921	1,244	73	675	816	880	734	1,035	1,298	7,603
	関係機関	977	1,967	127	1,305	707	1,481	771	991	1,360	9,559
	その他	44	85	23	3	13	3	8	77	16	249
	計	5,527	7,746	1,140	4,959	3,535	4,959	3,616	4,930	7,270	42,542

※1 高齢者人口は令和8年1月1日現在

※2 休日夜間相談や出張相談の一部を含む

(2) 地域包括支援センターの相談件数の推移（令和3年度～令和7年度）



※地域包括支援センターの相談件数を令和3年度から示した。令和2年度以降は、相談者の状況を鑑み、アウトリーチ的に相談の機会を拡充している。（夜間緊急・休日電話相談窓口、区民ひろば等出張相談など）

(3) 相談内容延べ件数の推移

年度	3	4	5	6	7
介護保険	19,268	21,872	22,162	21,290	21,660
介護予防プラン及び 新予防給付プラン関連	3,236	3,691	3,672	3,891	3,437
介護予防事業関連	557	1,099	775	710	662
一般施策(※1)	4,327	4,904	5,419	6,025	6,269
医療・看護・保健	10,551	12,917	12,143	11,480	11,707
権利擁護	2,288	1,814	1,591	2,385	1,848
虐待	817	677	1,390	1,670	1,982
生活・経済について(※2)	8,738	10,412	10,410	10,410	10,965
障害者制度について	218	138	148	176	162
介護保険と一般施策以外のサービスに関する相談(在宅サービス)	602	800	809	699	899
その他(※3)	1,636	3,314	1,647	1,679	1,530
認知症	4,174	5,094	4,801	5,269	5,238
計	56,412	66,732	64,967	65,684	66,359

※1 紙おむつ支給、おむつ購入費助成、救急通報システム、救急医療情報キット、寝具類乾燥、出張理美容、高齢者あんしん位置情報サービス、高齢者補聴器購入費助成、自立支援住宅改修、車椅子短期貸出の相談・申請 等

※2 生活保護、アパート立ち退き、ごみ、近隣関係、住まい（介護保険外の施設、養護老人ホーム、安心住まい等）

※3 苦情、関係機関からの情報提供（実態調査票の受け渡しなど）

(4) 高齢者の夜間緊急・休日相談窓口

令和3年度に地域包括支援センターの開設時間外において、高齢者及びその家族や関係機関からの電話相談や通報に対応するため、電話相談窓口を設置。

事業チラシを各区民ひろばに掲示・配布している。令和7年度はSNSを活用し、課題である認知度の低い「男性、多世代への周知」を行った。

■ 夜間緊急・休日相談窓口入電数

令和5年度	令和6年度	令和7年度
223	234	256

■ 令和7年度 相談内容別件

問い合わせ等	・ 包括、ケアマネと連絡を取りたい ・ 認知症の方の隣人について ・ 死亡後の手続きについて ・ 電話機購入の補助金について ・ 通帳、カードの紛失について	165
健康相談	・ 健康に関する相談	53
安否・身元確認、 対応依頼	・ (家族、民生委員等から) 安否確認通報 ・ (ヘルパーや訪看より) サービス利用患者と連絡がとれない ・ (警察より) 行方不明、保護高齢者の情報照会 ・ (警察より) 身元不明高齢女性の緊急対応依頼	17
話を聞いてほしい	・ 主訴不明、妄想的内容が大半(外出のたび泥棒が入る、歯科医がヤクザと組んで脅す、等)	13
介護に関すること	・ 介護認定・申請・手続きについて ・ ヘルパー事業所の利用について ・ 介護者自身の困りごとについて	6
住宅に関すること	・ トイレが詰まってしまった	2

■ 令和7年度 相談者別件数

本人	170
家族・親族	45
近所	7
介護関係者	6
警察署・消防署	6
民生委員	4
病院	3
友人・知人	2
大家・管理者	1
不明・匿名	1
その他	11

■ 地域包括支援センター対応件数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
電話対応	9	4	4
出勤対応	3	2	1
合計	12	6	5

■ 相談・対応事例

① 警察より入電(祝日)

親族より、対象者がいないと警察署に通報があり、自宅に来ている。この方の情報を緊急で知りたい。
⇒入院中でケアマネも決定していることを警察に伝え、親族にも共有いただく運びとなった。

② 本人より入電(日曜)

独居で、膝が悪く今朝から膝の痛みが強くなり動けない。近所に知人や家族もおらず、緊急で支援をお願いしたい。
⇒ 電話対応後に訪問し、同行受診を行った。

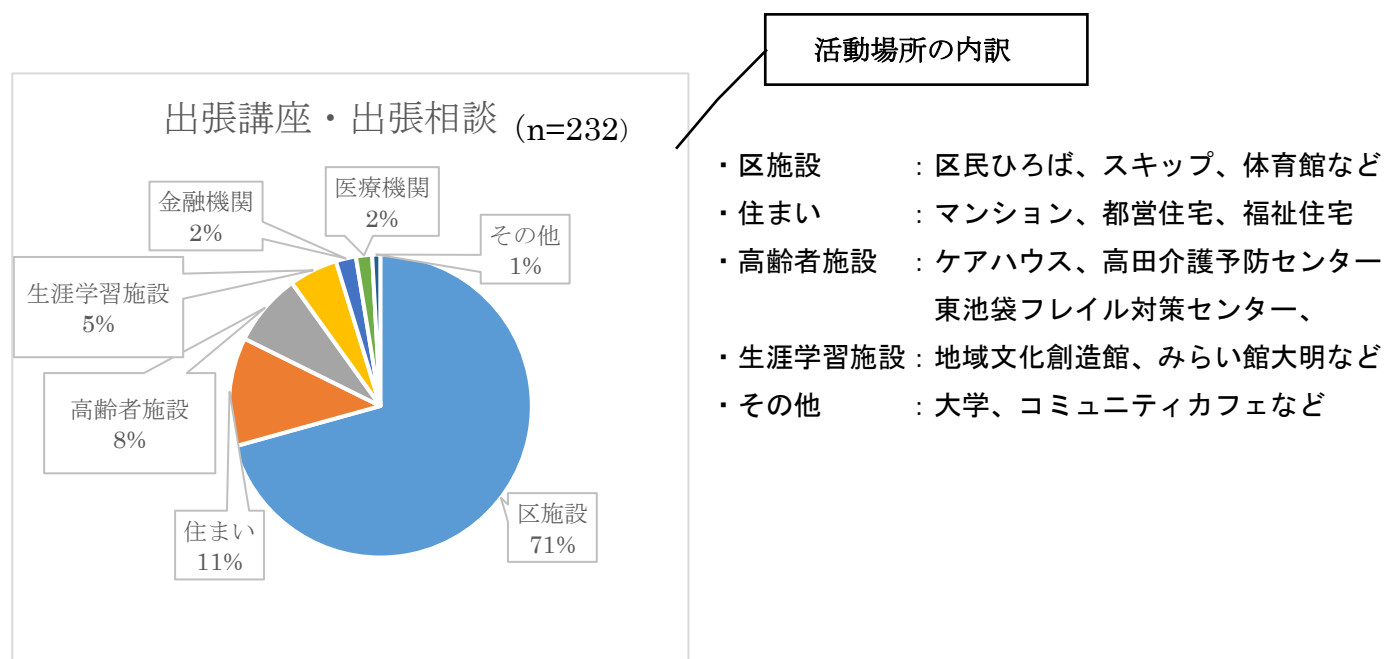
③ 民生委員より入電(日曜)

昨日と今朝、対象者宅を訪問したが新聞がポストにたまりっぱなしであり、チャイムを押したが反応がない。
⇒ 状況確認のため出勤しシステム確認。入院中ということが分かった。

(5) 出張相談・出張講座

令和3年度から地域包括支援センター職員による区民ひろばへ出張相談を開始した。高齢者にとって身近な場所で、介護保険や認知症、権利擁護等の「高齢者に関する専門的な相談」への対応が可能となった。また、区民ひろば職員やCSWと連携を図り、気になる高齢者への見守り体制の強化とともに、高齢者の家族や近隣住民等からも相談できる体制を整えた。令和6年度からは圏域の地域特性や実情にあわせて、区民ひろば以外にも出張相談・出張講座の開催場所を拡大し、関係機関との連携強化を図っている。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施回数	468	266	232
相談者数	453	365	294
相談者数（一回あたり）	0.96	1.37	1.27



(6) 令和7年度アウトリーチ事業相談統計 (令和7年4月～令和8年3月)

件数		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	合計
(65歳以上) 高齢者人口	高齢者人口	7,285	7,950	7,416	6,408	5,912	5,398	7,562	8,050	55,981
	高齢化率	19.9%	19.6%	17.6%	17.7%	16.6%	18.1%	20.7%	20.7%	18.9%
	高齢者人口全体に 対する割合	13.0%	14.2%	13.2%	11.4%	10.6%	9.6%	13.5%	14.4%	100.0%
相談方法	来所	961	1,023	912	738	707	769	1,090	1,019	7,219
	電話	752	833	587	988	1,273	818	538	988	6,777
	訪問	457	408	147	447	547	609	389	473	3,477
	その他	431	899	284	934	709	261	89	211	3,818
	計	2,601	3,163	1,930	3,107	3,236	2,457	2,106	2,691	21,291
主たる相談者	本人	1,119	794	453	1,132	1,230	871	665	860	7,124
	家族・親族	283	464	264	344	492	339	268	436	2,890
	近隣・知人	30	36	24	40	65	67	19	69	350
	行政関係者	404	998	273	740	363	331	123	296	3,528
	関係機関	70	48	62	122	174	83	64	134	757
	民生・児童委員	468	527	792	551	534	464	753	684	4,773
	医療機関・介護事 業者等	203	279	61	176	354	289	185	208	1,755
	見守りボランティ ア等 (NPO 等地 域団体を含む)	17	3	0	0	0	6	0	0	26
	その他	7	14	1	2	24	7	29	4	88
	計	2,601	3,163	1,930	3,107	3,236	2,457	2,106	2,691	21,291

※ 高齢者人口は令和8年1月1日現在

(7) 令和7年度地域包括支援センター事業実績（令和7年4月～令和8年3月）

件数			菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	合計
包括的支援事業	訪問による実態把握延べ件数		829	547	535	354	455	449	732	1,043	4,944
	ケアマネジャー相談延べ件数		921	1,244	675	816	880	734	1,035	1,298	7,603
	個別ケース検討会議開催回数		10	20	14	19	27	13	32	17	152
	元気はつらつ報告会開催回数		3	※3	4	※4	3	3	3	3	26
	地区懇談会開催回数		4	2	4	3	3	3	2	3	24
	出張講座・出張相談の開催回数		23	19	33	31	12	26	57	31	232
	地域における会議体への出席回数		38	7	4	19	26	32	32	20	178
	多職種連携会議関連	7	7	4	3	5	14	3	6	49	
	地域活動への参加(会議以外)		5	0	0	0	5	2	0	2	14
指定介護予防支援事業	予防給付プラン3月請求件数		156	196	180	148	153	117	249	229	1,428
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	77	103	53	70	80	61	129	112	685
		委託件数	79	93	127	78	73	56	120	117	743
第1号介護予防支援事業	予防ケアマネジメント3月請求件数		100	76	60	49	51	61	87	117	601
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	65	40	27	25	24	43	50	65	339
		委託件数	35	36	33	24	27	18	37	52	262

※区主催元気はつらつ報告会1事例含む

(8) 包括的・継続的ケアマネジメント支援について（令和7年度）

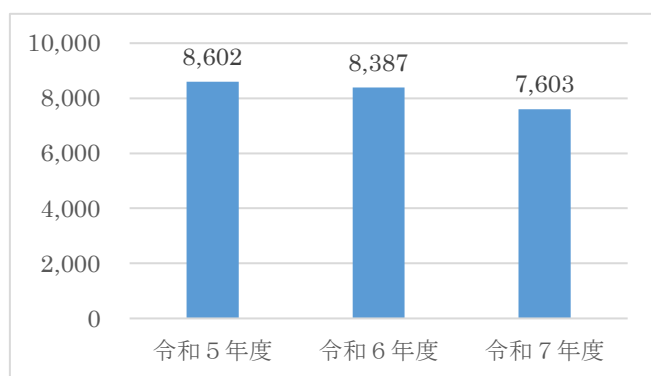
① 豊島区内居宅介護支援事業所のケアマネジャー数等の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ケアマネジャー(人)	203	199	206
主任ケアマネジャー	84	89	94
事業所総数(件)	68	64	64
ケアマネ1人の事業所	19	18	14

各年度の数 は 7 月 1 日 時点（令和 7 年度は令和 8 年 3 月 31 日 時点）

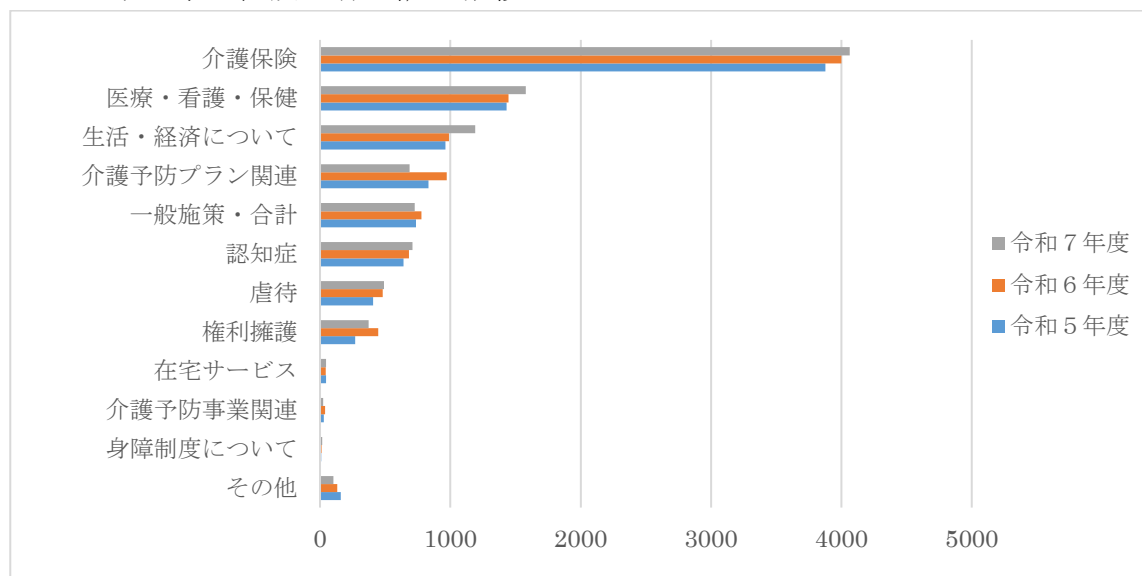
② ケアマネジャー相談件数

総合相談のうち、主たる相談者がケアマネジャーである相談件数の推移



相談者の背景を上記の表に一部示した。居宅介護支援事業所のケアマネジャー数、事業所総数は横ばい傾向である。全数に占める主任ケアマネジャーの割合は 46%、事業所の管理者が主任ケアマネジャーである割合は 91%に到達した。

ケアマネジャー相談内容内訳の推移



相談件数は年々微減傾向にあり、令和7年度は7000件台である。相談内容の内訳については①介護保険（40%）②医療・看護・保健（16%）③生活・経済（12%）の相談で全体の6割以上を占め、過去3年間の傾向に変化はなかった。

包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築

圏域ごとの多職種連携によるネットワーク構築や、全圏域に配置された生活支援コーディネーター・CSW等との連携により、地域包括支援センターがかかわる地域資源の広がりが見られ、地域ぐるみで問題解決に向けた取り組みを行っていることがわかる。

項 目	内 容
関係機関との連携作り	○<u>第2層生活支援コーディネーターやCSWとの連携</u> 地域課題の共有 / 地域にあると良い社会資源の協議/近隣区包括との連携 ○<u>地区懇談会等にてネットワークの構築</u> 消費者トラブルや詐欺をテーマに情報共有やネットワーク構築(警察署) ○<u>ケアマネ研修会等にて社協や他課との連携</u> 「精神障害」の理解と障害サービスからの移行について(障害福祉課) / 「ヤングケアラー」の理解(子ども家庭支援センター) / 「生活保護の申請の流れについて」(生活福祉課)/身寄りのない方の身元保証について(サポートとしま) / 「権利擁護に関する支援」(社協) / 「高齢者の住まい・住宅確保要配慮者への理解」(自立支援担当課・住宅マンション課) ○<u>大学との連携</u> 大正大学の学生を対象に「認知症サポーター養成講座」開催
医療機関との連携体制作り	○<u>多職種連携会議による連携</u> 「メンタルヘルスのためのカスタマーハラスメント」の勉強会 / 「多問題家族の支援を考える」 / 「災害時対応・応急処置」の勉強会 / 区民向けイベント開催(ムセない食事講座) / 「臨床倫理と実践」の勉強会 ○<u>地域の医療機関との連携</u> ○<u>近隣や区内医療機関と入退院支援による連携強化</u> 「つなげるシート」の活用と運用 ○<u>MCSの活用</u>
地域のインフォーマルサービスとの連携作り	○<u>地域の自主グループやつながるサロンとの連携</u> サロン立ち上げ・運営支援・活動場所の確保・情報共有 男性向け講座(歴史講座)/銭湯の空き時間を活用(風呂端会議) ○<u>生活支援コーディネーターと包括の協働</u> 地域の有料老人ホームを地域の交流の場として活用 / 施設や店の協力を得て「すずめるマップ」を作成 ○<u>町会や高齢者クラブや福祉住宅との連携</u> 広報活動 / 見守りや地域包括支援センターの周知活動/サロン

介護支援 専門員 支援	○「ケアマネジャー研修会」開催 ○「ケアマネジャー地区懇談会」開催 ケアマネジャーが抱える課題について懇談・地域資源の情報共有
-------------------	---

※介護支援専門員向け研修会・勉強会の実施については、

- ・別紙「令和7年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧」参照。
- ・豊島区全体でケアマネジャー研修は、上記包括での研修以外に高齢者福祉課4回、介護保険課7回、地域保健課5回開催し、年間32回実施している。

2. 運営事業委託実施報告・実施計画

(1) 令和7年度実績報告

① 委託事業所8事業所

(ア) 菊かおる園地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(イ) 東部地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
東部地域包括支援センターこまごめ相談室	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ウ) 中央地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区民社会福祉協議会)
(エ) ふくろうの杜地域包括支援センター	(社会福祉法人	敬心福祉会)
(オ) 豊島区医師会地域包括支援センター	(公益社団法人	豊島区医師会)
(カ) いけよんの郷地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)
(キ) アトリエ村地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ク) 西部地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)

② 委託料予算額及び執行額

令和7年度	金額	内訳	備考
予算	406,359,720 円		
執行額	403,572,120 円	① 54,329,500 円 ② 53,081,000 円 ③ 53,926,520 円 ④ 52,525,340 円 ⑤ 50,638,840 円 ⑥ 47,736,740 円 ⑦ 45,619,340 円 ⑧ 38,714,840 円 ⑨ 7,000,000 円	
執行残	2,787,600 円		執行率 99.3%

(2) 令和8年度実施計画

① 委託事業所8事業所

- (ア) 菊かおる園地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- (イ) 東部地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- 東部地域包括支援センター こまごめ相談室 (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- (ウ) 中央地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会)
- (エ) ふくろうの杜地域包括支援センター (社会福祉法人 敬心福祉会)
- (オ) 豊島区医師会地域包括支援センター (公益社団法人 豊島区医師会)
- (カ) いけよんの郷地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)
- (キ) アトリエ村地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- (ク) 西部地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)

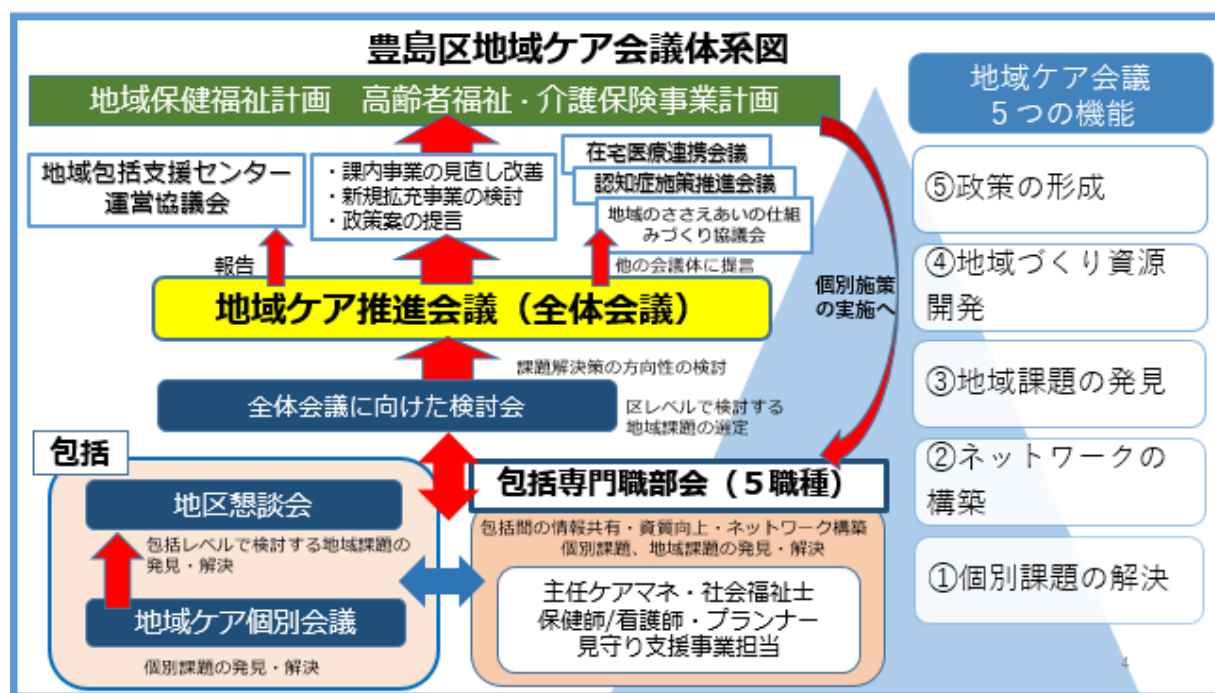
② 委託料予算額

令和8年度	金額	内訳	備考
予算額	411,267,680 円		
総価分	406,259,680 円	① 51,857,960 円 ② 52,418,960 円 ③ 52,414,960 円 ④ 53,651,960 円 ⑤ 49,313,960 円 ⑥ 47,055,960 円 ⑦ 50,609,960 円 ⑧ 41,935,960 円 ⑨ 7,000,000 円	
単価分	5,008,000 円	@500,000×8 事業所 @126,000×8 事業所	

3. 地域ケア会議・予防プラン等の状況について

(1) 地域ケア会議について

- 地域ケア会議は、支援が必要な高齢者等への適切な支援を行うための検討を多様な関係者で行うとともに、個別ケースの検討によって把握・共有した地域課題を地域づくりや政策形成に結び付けていくことで、地域包括ケアを推進していく1つの方法である。
- 豊島区地域ケア会議体系図は下記のとおりである。令和3年度より、包括専門職等による協議の場が設けられ、縦横断的に地域課題に取り組む体制を整備している。
- 令和4年度からは、包括主催「地区懇談会」と「全体会議に向けた検討会」で取り上げるテーマ（地域課題）が連動する形で検討され、地域の介護・福祉事業所職員など課題に関わる関係者等も参画し議論を深めている。
- 令和7年度は前年度に引き続き「インフォーマルな担い手」について、関係機関にも参画いただき、「住民主体の支え手」、「専門性のある支え手」の検討を行った。



① 地域ケア個別会議

(ア)「元気はつらつ報告会」(自立支援地域ケア会議)

高齢者の「本人らしい生活」の実現に向けて多職種の専門的な視点に基づく検討を行う。

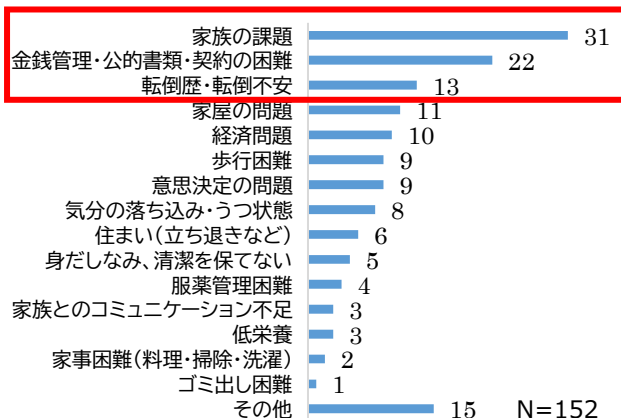
(イ)「個別会議」(地域包括支援センター主催)

支援困難ケースの課題検討、ケアマネジャー等の関係者支援を行う。

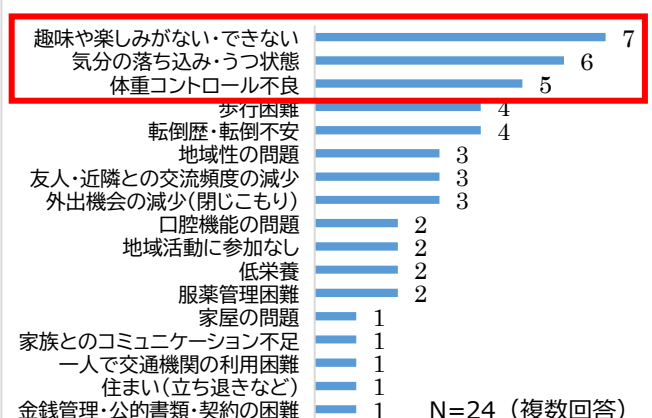
地域ケア個別会議		(ア) 元気はつらつ 報告会	(イ) 個別会議	総計
包 括 主 催	菊	3	10	13
	東部	2	20	22
	中央	4	14	18
	ふくろう	3	19	22
	医師会	3	27	30
	いけよん	3	13	16
	アトリエ	3	32	35
	西部	3	17	20
区主催		※2	—	0
総数		26	152	178

※区主催元気はつらつ報告会事例提供：東部包括1事例、ふくろうの杜包括1事例

個別課題から見た最重要生活課題



包括主催元気はつらつ報告会から見た最重要生活課題



個別会議では困難事例を取り上げることが多く、家族の課題、金銭管理や公的書類・契約の困難、転倒歴・転倒不安など、地域での生活継続が困難になる課題が最重要生活課題として上位に挙がっている。家族の課題では、老障世帯や老老・認認等介護力に乏しい世帯など、複合的な課題に対応する事例が見受けられる。一方、元気はつらつ報告会では、地域で「自分らしい生活」の実現に向けて障害となっている課題が挙がるため、趣味や楽しみ、健康を阻害する生活課題が上位に挙がっている。

② 地域ケア推進会議

(ア)「地域ケア会議全体会議」(区主催)

区レベルで、地域課題解決策の方向性を検討し、地域づくり・資源開発、政策の形成を目指す。

(イ)「全体会議に向けた検討会」(区主催)

全体会議で検討する地域課題の分析・選定を行う。令和5年度より「評価検討会」(元気はつらつ報告会の効果や地域課題の分析を行う会議)を検討会に位置づけた。

(ウ)「地区懇談会」(地域包括支援センター主催)

地域の課題を共有し、多職種・多機関の連携による包括的な支援や、地域連携、ネットワークづくりを行う。

地域ケア推進会議 (区主催)			
(ア) 全体会議	(イ) 全体会議に向けた検討		総計
	上記の検討会	評価検討会	
1	14	1	16

種別		(ウ) 地区懇談会
地域ケア 推進会議	菊	4
	東部	2
	中央	4
	ふくろう	3
	医師会	3
	いけよん	3
	アトリエ	2
	西部	3
総計 (回)		24

(2) センター長連絡会

各地域包括支援センター間のよりスムーズな連携、情報の一元化等を目指して、各センター長を招集する会議。毎月1回、1時間30分程度、事務連絡の他、全体で打ち合わせを必要とする課題について検討を行っている。

関係機関からの要請による事業説明や連絡事項のほか、課題にかかわる担当者にも出席を依頼し実施している。

回	実施日	内容
第1回	4月15日	○通信訓練の実施について ○令和7年度伴走型支援事業について ○高齢者の保健事業の一体的実施事業 ○令和7年度熱中症対策事業について
第2回	5月20日	○家具転倒防止対策費用の助成金の案内 (防災危機管理課) ○ケアプランデータ連携システムの導入について (介護保険課管理グループ) ○成年後見制度申立費用助成事業について
第3回	6月17日	○認定申請の受付時に係る案内 (介護保険課認定審査グルー

回	実施日	内容
	オンライン 開催	プ) ○令和7年度介護予防把握事業について ○熱中症予防啓発用グッズの配付について
第4回	7月15日	○困難女性支援法における支援調整会議についてグループ（総務部男女平等推進センター） ○災害時要援護者地域共有名簿の配布と説明（福祉総務課災害対策グループ） ○振込詐欺による国際電話利用休止について（池袋警察署生活安全課防犯係） ○8050問題に関する聞き取り調査の協力依頼について（障害福祉課身体障害者支援グループ・精神障害者福祉グループ）
第5回	8月19日 オンライン 開催	○見立て8型フォローアップ研修のお知らせ ○認知症のある人の社会資源について ○つながるサロフレイルチェックについて
第6回	9月16日	○個人番号カード顔写真証明書の取り扱いについて ○としまりハビリ通所サービスについて ○認知症介護者の会からの講師依頼について
第7回	10月21日 オンライン 開催	○としま地域デビュー応援マルシェについて ○包括啓発グッズについて ○介護予防把握事業について
第8回	11月18日	○ケアプランデータ連携システムの導入について（介護保険課管理グループ） ○高齢者虐待対応について ○健康状態不明者の報告と依頼 ○スマホ購入費助成事業の開始について
第9回	12月16日 オンライン 開催	○認定審査グループ連絡事項（介護保険課認定審査グループ） ○個人情報（情報提供）に関する同意書について ○新しいWINCARE環境の接続方法について
第10回	1月20日	○シルバー人材センターの受託業務の紹介等（公益財団法人豊島区シルバー人材センター） ○指定介護予防支援事業所の指定更新について ○つながるサロン交流会について
第11回	2月17日 オンライン 開催	○令和7年度介護予防把握事業の最終結果報告 ○令和8年度認知症初期集中支援チーム員会議の開催 ○としま入浴通所型サービスについて ○令和8年度単価契約分について

回	実施日	内容
第12回	3月23日	○認定審査グループ連絡事項（介護保険課認定審査グループ） ○夜間緊急、休日電話相談窓口の実績について ○職員の賃上げ補助金に関する検討状況について ○災害対策用蓄電池・ソーラーパネルの備品登録について ○令和8年度2包括合同元気はつらつ報告会の日程調整依頼

（３）包括専門職部会

① 社会福祉士部会

2か月に1回、2時間程度実施している。成年後見制度、虐待対応等における検討、事例検討を行った。意見交換においては、専門職としてのスキルアップを図った。

回	実施日	内容
第1回	5月15日	○「ばあとなあ東京」との連携について ○虐待対応マニュアルPTメンバー選出 ○第2回以降のテーマ及び回数、役割分担に関して
第2回	7月17日	○「くらし・しごと相談支援センター」との連携について ○高齢者虐待対応マニュアルPTについて ○事例検討（事例提供：ふくろうの杜） ○意見交換
第3回	9月18日	○特殊詐欺の手口や被害防止策を中心に～警察との連携について ○報告：高齢者虐待対応マニュアルPT ○事例検討（事例提供：東部包括）
第4回	11月20日	○「公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート東京 支部 豊島地区」との連携について ○事例検討（事例提供：豊島区医師会包括） ○報告：高齢者虐待対応マニュアルPT ○検討事項：今後の社会福祉士部会のあり方について ○意見交換
第5回	1月15日	○「相談支援センターこかげ」との連携について ○報告：高齢者虐待対応マニュアルPT ○来年度の日程、取り組みたいテーマについて

② 医療職部会

3か月に1回、2時間程度実施している。課題に基づき、包括および課内、在宅医療相談窓口、保健所、障害福祉課、地域の医療機関等との連携を推進している。

回	実施日	内容
第1回	5月23日	○地域ケアグループの事業について ○医療職部会第4回の議題について
第2回	8月22日	○つなげるシートの検証 ○虐待対応マニュアルPT医療職の意見聴取について ○認知症のある人の社会参加活動について情報提供
第3回	11月28日 オンライン 開催	○伴走型支援について ○初期集中支援チームについて等
第4回	2月27日	○若年性認知症連絡会 ○次年度の年間計画について

③ 主任ケアマネジャー専門部会

ケアマネジャーの資質向上と主任ケアマネジャーの育成を目的として、2か月に1回実施している。セルフプランについて、介護保険課給付グループと確認を行った。

回	実施日	内容
第1回	5月28日	○セルフプランについて整理、検討 ○今年度のケアマネ地区懇談会について ○暫定（予防）ケアプランの包括内部マニュアルとしてのフロー図作成について
第2回	7月23日	○セルフプランについて意見交換 ○暫定（予防）ケアプランのマニュアルとしてのフローチャートについて検討
第3回	9月24日	○セルフプランの今後について（事前調査に基づき） ○暫定（予防）ケアプランのフローチャートの検討
第4回	11月26日	○セルフプランの全体の流れの明確化 ○暫定（予防）ケアプランフロー図の修正
第5回	1月28日	○暫定（予防）ケアプラン包括マニュアル用フローチャートの確認 ○セルフプランの流れについての確認 ○ケアプランデータ連携システム研修について
第6回	3月25日	○暫定（予防）ケアプランに関するフロー図の周知と運用開始について

回	実施日	内容
		○来年度の部会運営計画について

④ プランナー部会

専門職としてのスキルアップや自立支援に特化したプランナーの専門性の向上や情報共有・連携の強化を目的に、年間4回開催した。

回	実施日	内容
第1回	6月3日	○令和7年度年間計画について ○情報共有
第2回	9月2日	○2層コーディネーターとの連携について（各包括の発表） ○事例紹介と2層との連携による効果について
第3回	12月2日	○令和7年10月以降の通所サービス変更に伴う事象及び共有事項について（各包括の発表と検討）
第4回	2月3日	○事例検討会 訪問C通所C利用者の自立に向けて（各包括の発表と検討・意見交換）

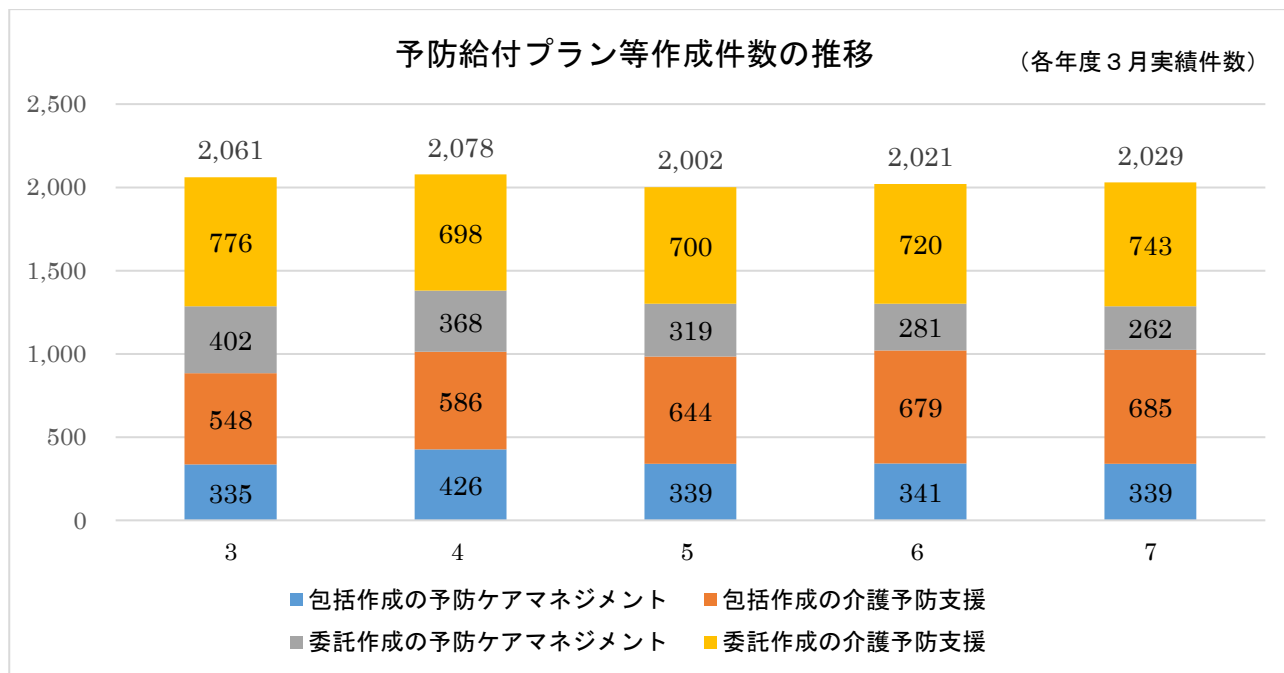
⑤ 見守り支援事業担当者連絡会

令和7年度は今までの連絡会を継承し、2か月に1回、2時間程度開催した。事務連絡の他、見守り支援担当者間の情報共有の場となっている。

回	実施日	内容
第1回	4月10日	○令和7年度見守り担当者紹介 ○令和7年度熱中症対策事業について ○アウトリーチ事業について ○見守り支援担当者連絡会の日程について
第2回	6月19日	○消費生活センターについて ○事例検討について ○年間計画について ○令和7年度熱中症対策事業について
第3回	8月21日	○特殊詐欺防止チラシについて ○見守り協定について ○アウトリーチ事業について ○令和7年度熱中症対策事業について
第4回	10月16日	○熱中症訪問について ○見守り相談窓口設置事業実績報告の変更について ○アウトリーチ名簿の必須項目について ○見守り意見交換会について
第5回	12月18日	○見守り協定締結事業者との意見交換会について

回	実施日	内容
		○各見守り支援相談窓口における創意工夫について ○アウトリーチ名簿について ○令和８年度熱中症対策事業について
第６回	２月１２日	○令和８年度熱中症対策事業について ○東京都見守りサポーターアプリについて ○アウトリーチマニュアルについて ○令和８年度見守り連絡会日程について

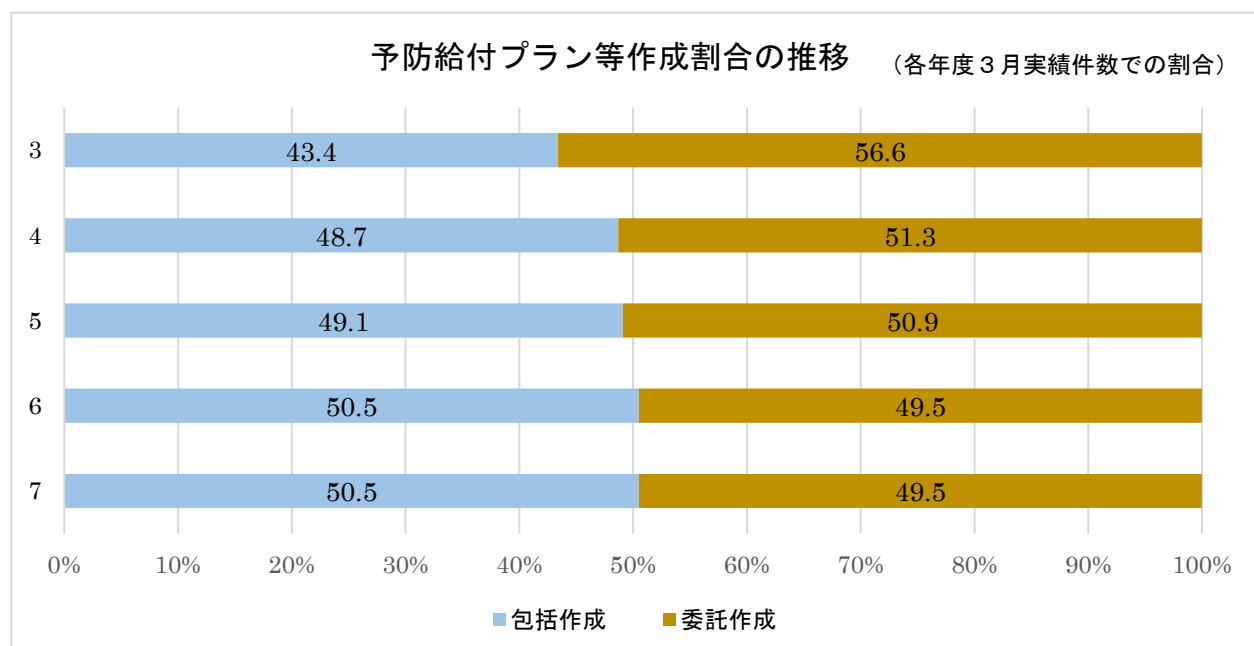
(4) 予防給付プラン等請求実績について（令和3年度～令和7年度）



平成28年度から総合事業が開始となり、総合事業のみを利用した場合は介護予防ケアマネジメントとなる。

令和7年度の豊島区予防給付プラン等請求件数は、令和8年3月時点で2,029件である（令和6年度は2,021件）。このうち、地域包括支援センター作成が1,024件（50.5%）、居宅介護支援事業者に委託しての作成が1,005件（49.5%）である。全体件数は微増となっている。

※上記件数には令和6年度法令改正による包括以外の事業所が直接実施している介護予防支援の件数は含まれていない。



4. 認知症対策について

(1) 包括が関連する認知症支援事業 実施状況

① もの忘れ相談（定期相談）

地域包括 支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未 満	65～ 74歳	75歳～ 84歳	85歳 以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	4	2	0	2	0	0	3	1	3	1
東部	4	1	3	0	0	0	3	1	0	4
中央	3	0	0	3	0	0	0	3	2	1
ふくろうの杜	2	1	1	0	0	1	1	0	0	2
豊島区医師会	4	1	3	0	0	0	2	2	2	2
いけよんの郷	4	0	2	2	0	1	1	2	3	1
アトリエ村	3	1	2	0	0	0	3	0	2	1
西部	5	2	2	1	0	2	2	1	1	4
合計	29	8	13	8	0	4	15	10	13	16

② もの忘れ相談（随時対応相談）

地域包括支援セ ンター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東部	2	1	1	0	0	0	1	1	2	0
中央	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
ふくろうの杜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊島区医師会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いけよんの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトリエ村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
合計	4	1	1	0	0	0	3	1	4	0

③ 認知症介護者支援事業・認知症普及啓発（認知症サポーター養成講座、認知症ライフサポート研修）

地域包括支援センター	認知症支援講座	認知症サポーター養成講座	認知症の地域づくり推進事業(※)		
			本人ミーティング	認知症の人と家族の一体的実施プログラム	認知症介護者の会
菊かおる園	1	2	1	0	0
東部	1	2	0	0	0
中央	1	1	0	2	12
ふくろうの杜	—	2	0	0	11
豊島区医師会	—	1	0	0	5
いけよんの郷	1	5	0	0	0
アトリエ村	—	1	0	2	0
西部	—	7	11	3	12
合計	4	21	12	7	40

※認知症の地域づくり推進事業は見守り担当の出席回数も含む

④ 認知症初期集中支援チーム実績

地域包括支援センター	事例提出数	チーム員支援数
菊かおる園	4	4
東部	1	1
中央	2	1
ふくろうの杜	2	1
豊島区医師会	2	2
いけよんの郷	2	2
アトリエ村	3	3
西部	5	4
合計	21	18

(2) 総合事業等

事業名	事業概要	利用件数
基本チェックリスト	25 の質問項目により日常生活に必要な生活機能が低下していないかを調べ、該当者は介護予防・生活支援サービス事業の利用につなげる。 対象：65 歳以上の区民	実施数 108 件 事業該当者 102 件

事業名		事業概要	利用件数
訪問型サービス事業	介護予防訪問事業	ホームヘルパーが自宅に訪問して、利用者が自立した生活を営めるよう、生活援助や身体介護をする。 対象：要支援１・２	727 件
	訪問型サービスＡ	ホームヘルパーが自宅に訪問して、利用者が自立した生活を営めるよう、生活援助や簡易な身体介護をする。家事援助のみの場合は区研修修了者により支援することもできる。 対象：要支援１・２	6,515 件 (高額介護予防サービス費相当事業費を含む)
	生活支援お助け隊（訪問型サービスＢ）	区で実施する研修修了者が自宅に訪問して、掃除等の簡易な家事援助をすることで利用者の自立した生活を支援する。 対象：要支援１・２及び 65 歳以上の基本チェックリスト該当者	22 件 (実人数)
	短期集中訪問型サービス事業（訪問型サービスＣ）	３～６か月の期間で、リハビリテーション専門職等からリハビリテーション、口腔ケア、低栄養改善などのアドバイスを受けて、日常生活機能の向上に取り組む。 対象：要支援１・２及び 65 歳以上の基本チェックリスト該当者	リハビリテーション 121 件 口腔ケア 2 件 低栄養改善 17 件 (実人数)
通所型サービス事業	介護予防通所事業	デイサービスなどで、介護予防を目的とした運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上などの選択的なサービスを日帰りで受けられる。 対象：要支援１・２	8,593 件
	通所型サービスＡ	リハビリに特化したプログラムにより、運動機能を維持・改善させ、自立した日常生活を送れるようサポートする。 対象：要支援１・２及び 65 歳以上の基本チェックリスト該当者	222 件
	としま入浴通所サービス	自宅での入浴が困難な方が、必要な介助や見守りのもと入浴に特化したサービスを受ける。 対象：要支援１・２及び 65 歳以上の基本チェックリスト該当者	685 件
	つながるサロン（通所型サービスＢ）	自宅や区施設などで体操や会食をしている自主グループによる活動（サロン）へ参加し、心身の活力の低下を予防する。 対象：要支援１・２及び 65 歳以上の基本チェックリスト該当者	1,242 件 (実人数)
	短期集中通所型サービス事業（通所型サービスＣ）	リハビリ又は栄養改善などが必要な方を対象に、介護予防センターなどで３か月間週１回程度、専門職によるアドバイスを受けながら体操や会食をして日常生活機能の向上に取り組む。 対象：要支援１・２及び 65 歳以上の基本チェックリスト該当者	131 件 (実人数)

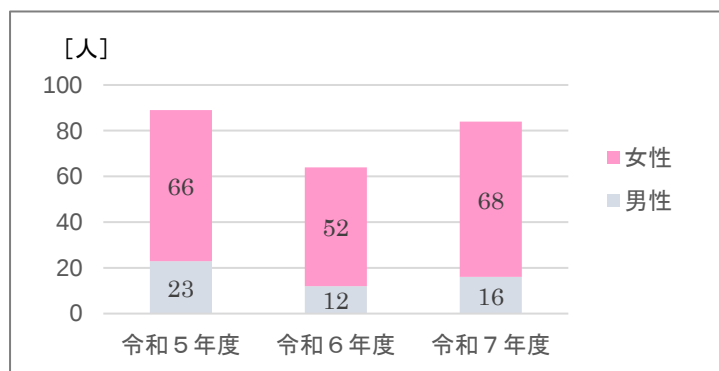
5. 高齢者虐待について

(1) 高齢者虐待受理状況の推移（地域包括支援センター等から受理した件数）

令和5年度～令和7年度（令和8年3月末時点）

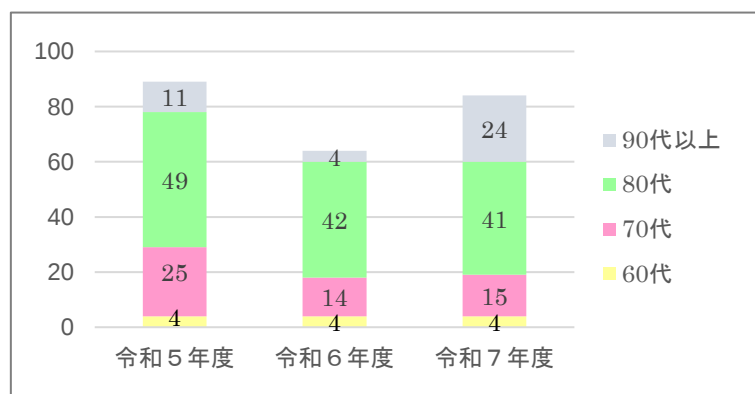
① 被虐待者の内訳（男女別）

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性	23	25.8%	12	18.8%	16	19.0%
女性	66	74.2%	52	81.3%	68	81.0%
合計	89	100.0%	64	100.0%	84	100.0%



② 被虐待者の内訳（年齢別）

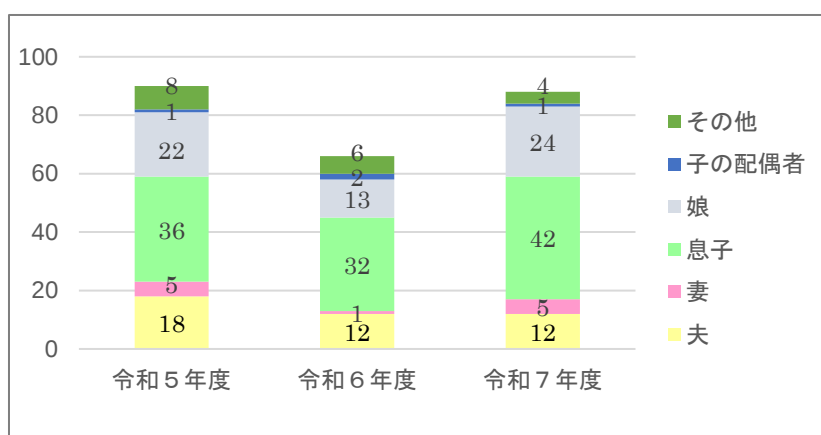
	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
60代	4	4.5%	4	6.3%	4	4.8%
70代	25	28.1%	14	21.9%	15	17.8%
80代	49	55.0%	42	65.6%	41	48.8%
90代以上	11	12.4%	4	6.3%	24	28.6%
合計	89	100.0%	64	100.0%	84	100.0%



③ 主たる虐待者（重複あり）

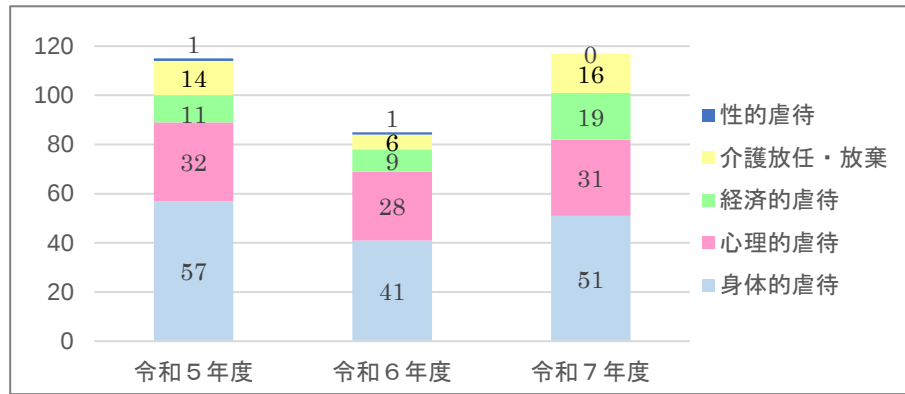
	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
夫	18	20.0%	12	18.2%	12	13.6%
妻	5	5.6%	1	1.5%	5	5.7%
息子	36	40.0%	32	48.8%	42	47.7%
娘	22	24.4%	13	19.7%	24	27.3%
子の配偶者	1	1.1%	2	3.0%	1	1.1%
その他※	8	8.8%	6	9.0%	4	4.5%
合計	90	100.0%	66	100.0%	88	100.0%

※元夫、孫、兄弟姉妹、甥



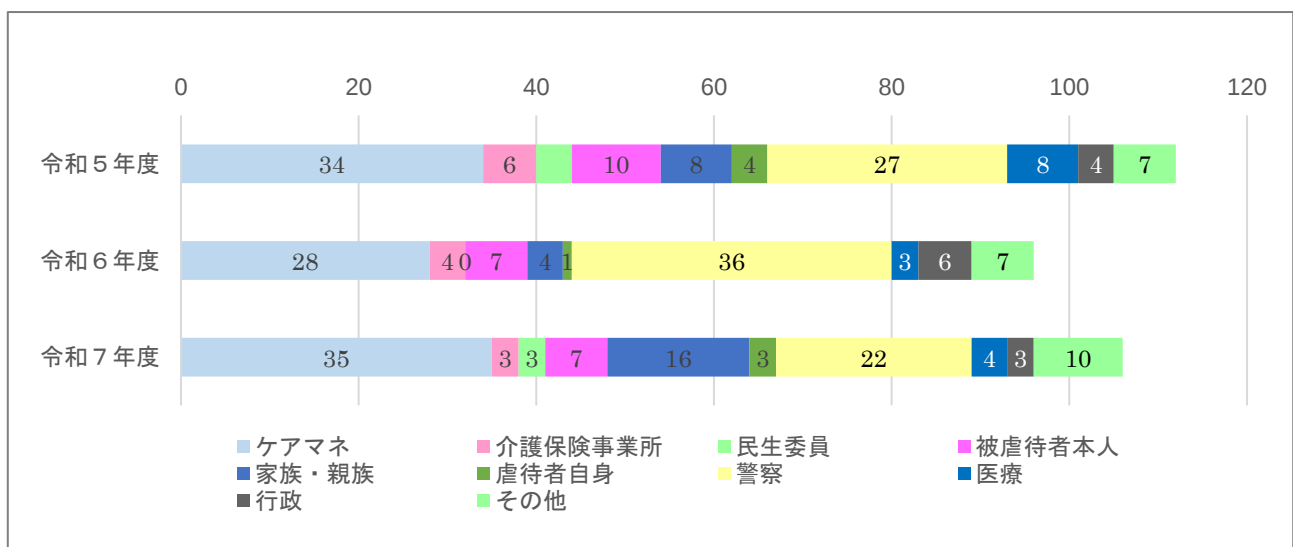
④ 虐待の種類（重複あり）

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
身体的虐待	57	64.0%	41	64.1%	51	60.7%
心理的虐待	32	36.0%	28	43.8%	31	36.9%
経済的虐待	11	12.4%	9	14.1%	19	22.6%
介護放任・放棄	14	15.7%	6	9.4%	16	19.0%
性的虐待	1	1.1%	1	1.6%	0	0.0%
合計	115	100.0%	85	100.0%	117	100.0%



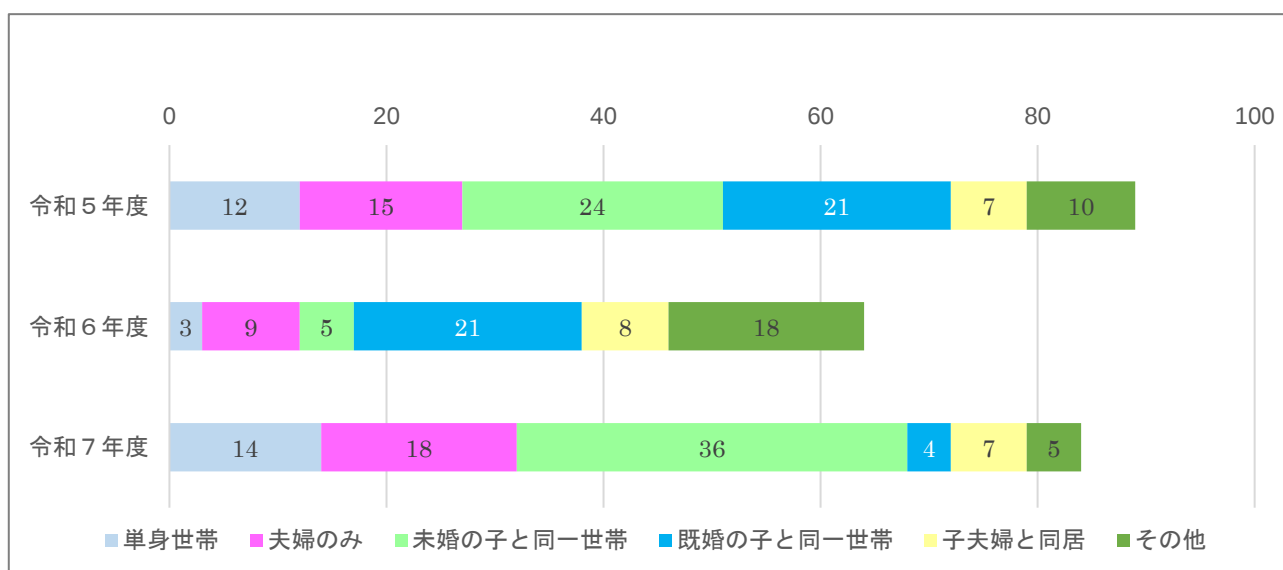
⑤ 通報・届出者（重複あり）

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ケアマネ	34	29.8%	28	29.2%	35	33.0%
介護保険事業所	6	5.3%	4	4.2%	3	2.8%
民生委員	4	3.5%	0	0.0%	3	2.8%
被虐待者本人	10	8.8%	7	7.3%	7	6.6%
家族・親族	8	7.0%	4	4.2%	16	15.1%
虐待者自身	4	3.5%	1	1.0%	3	2.8%
警察	27	23.7%	36	37.5%	22	20.8%
医療	8	7.0%	3	3.1%	4	3.8%
行政	4	3.5%	6	6.3%	3	2.8%
その他	7	8.0%	7	7.3%	10	9.4%
合計	112	100.0%	96	100.0%	106	100.0%



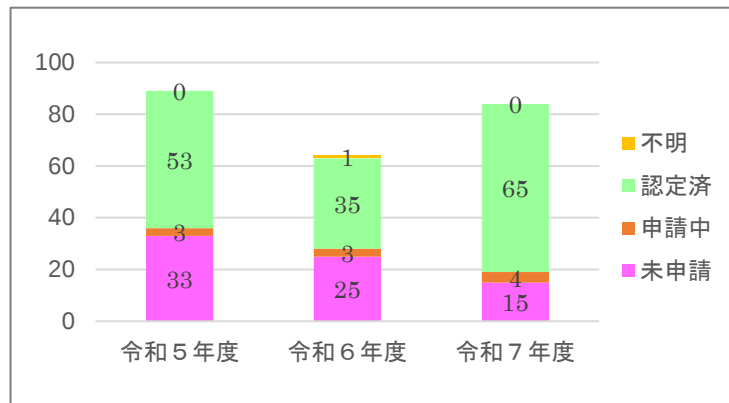
⑥ 世帯構成

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
単身世帯	12	13.5%	3	4.7%	14	16.7%
夫婦のみ	15	16.9%	9	14.1%	18	21.4%
未婚の子と同一世帯	24	27.0%	5	7.8%	36	42.9%
既婚の子と同一世帯	21	23.6%	21	32.8%	4	4.8%
子夫婦と同居	7	7.9%	8	12.5%	7	8.3%
その他	10	11.2%	18	28.2%	5	6.0%
合計	89	100.0%	64	100.0%	84	100.0%



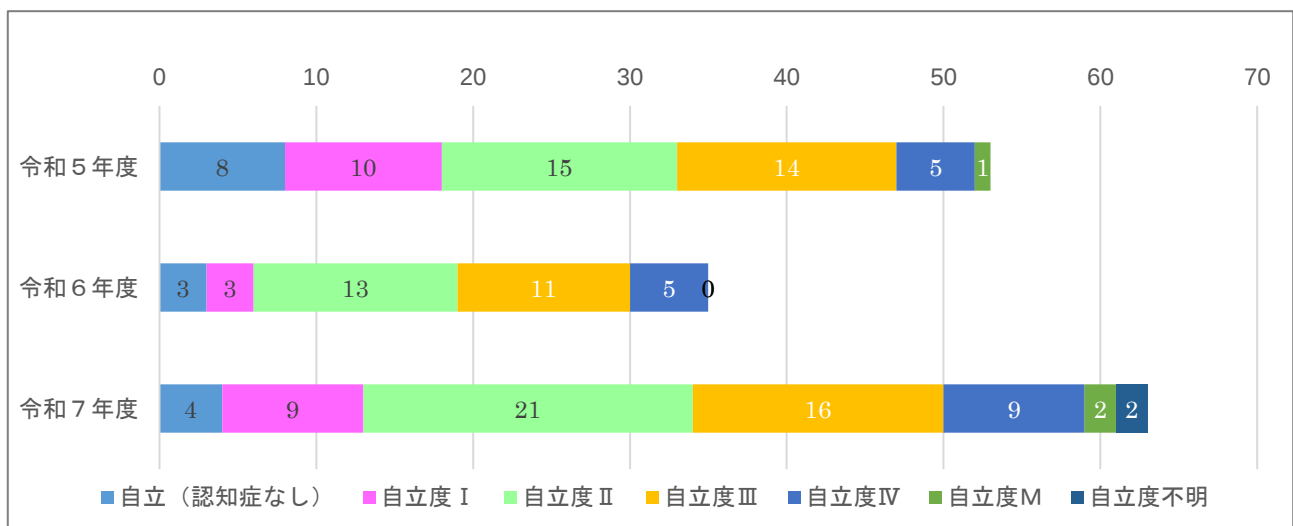
⑦ 被虐待者の介護保険の申請状況

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
未申請	33	37.1%	25	39.1%	15	17.9%
申請中	3	3.4%	3	4.7%	4	4.8%
認定済	53	59.6%	35	54.7%	65	75.0%
不明	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%
合計	89	100.0%	64	100.0%	84	100.0%



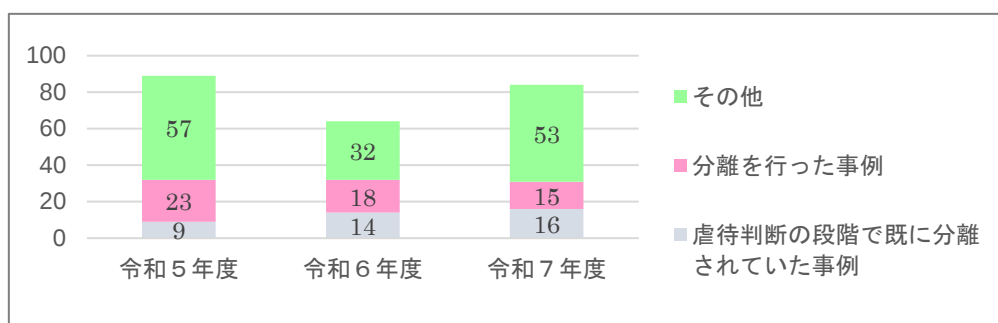
⑧ 認定済み者の認知症日常生活自立度

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自立（認知症なし）	8	15.1%	3	8.6%	4	6.3%
自立度Ⅰ	10	18.9%	3	8.6%	9	14.3%
自立度Ⅱ	15	28.3%	13	37.1%	21	33.3%
自立度Ⅲ	14	26.4%	11	31.4%	16	25.4%
自立度Ⅳ	5	9.4%	5	14.3%	9	14.3%
自立度Ⅴ	1	1.9%	0	0.0%	2	3.2%
自立度不明	0	0.0%	0	0.0%	4	3.2%
合計	53	100.0%	35	100.0%	65	100.0%



⑨ 対応状況

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
虐待判断の段階で既に分離されていた事例	9	10.1%	14	12.7%	16	19.0%
分離を行った事例	23	25.8%	18	16.4%	15	17.9%
その他	57	64.1%	32	70.9%	53	63.1%
合計	89	100.0%	64	100.0%	84	100.0%



※分離を行っていない場合の対応内容（重複あり）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	件数	件数	件数
養護者に対する助言	21	35	37
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	3	6	2
新たに介護保険サービスを利用	6	9	15
介護保険サービスのケアプランの見直し	5	14	14
介護保険サービス以外のサービスを利用	3	10	5
経過観察(見守り)	23	19	33
その他	13	28	19

(2) 認知症・虐待専門対応事業の実施状況

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	回数	件数	回数	件数	回数	件数
高齢者こころの相談	18	24	13	14	12	15
高齢者虐待専門ケア会議	12	26	12	25	12	24
要介護高齢者援助スタッフ専門相談	12	24	11	20	12	18